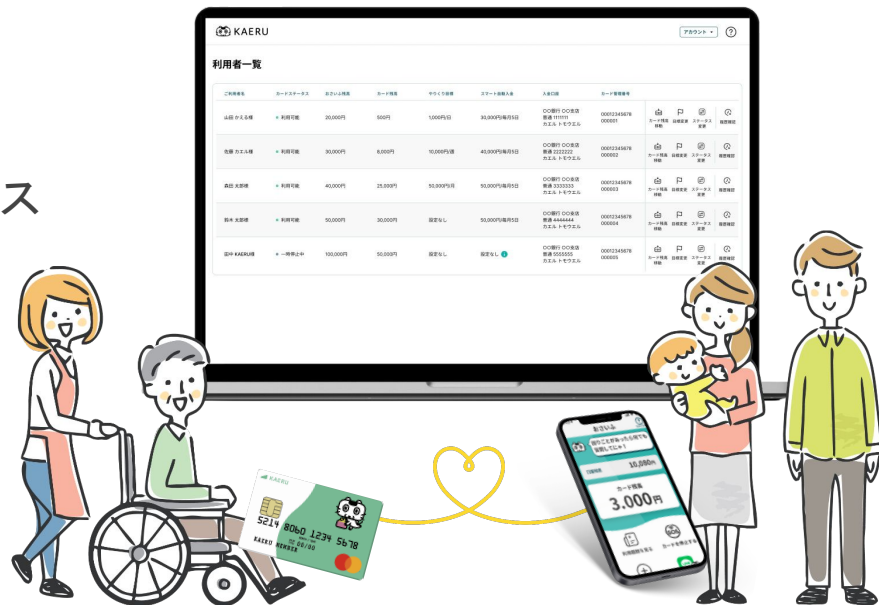


金銭管理が不安な方と
サポートする方を繋ぐ
みまもり機能付きキャッシュレスサービス



会社概要

VISION

誰もが買いものを楽しみ続けられる世の中にする

認知力が弱っても本人がやりたい生活が続けられる、そんな世界を目指して私たちはサービスを展開しています。

会社概要

会社名: KAERU株式会社

住所: 東京都千代田区大手町一丁目6番1号

大手町ビル4階FINOLAB内

設立: 2020年10月9日

資本金: 10,000,000円

従業員: 役員2名、正社員(業務委託等 含む) 8名

事業内容: みまもり機能付き決済アプリ

「KAERU」

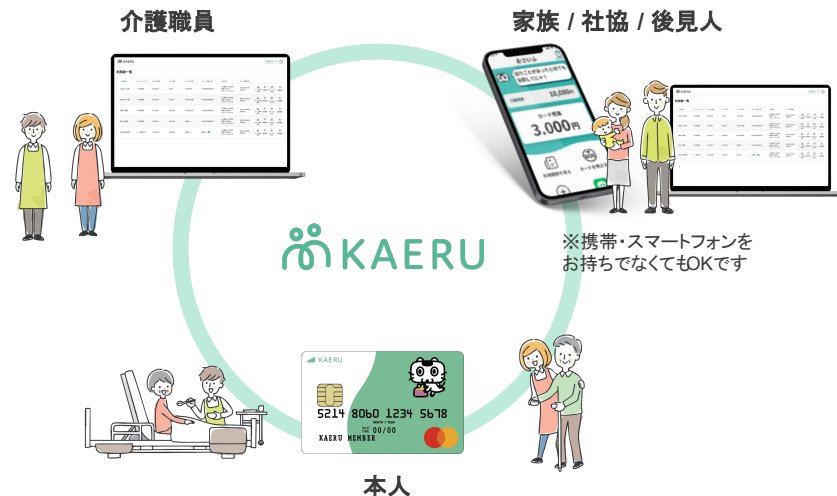
自立支援を行う行政機関・成年後見人向けサービス

「KAERU Biz 権利擁護」

介護施設・訪問介護向けサービス

「KAERU Biz 介護」

サービスイメージ



自己紹介



KAERU株式会社
代表取締役 CEO
岡田 知拓 Okada Tomohiro

東京農工大学応用生命化学修士卒。
新卒で決済ベンチャーの法人営業・事業開発を担当。海外に拠点を移し、東南アジアのスタートアップにジョイン。その後、日本に戻りLINE株式会社に入社。
LINE Payサービスの立ち上げ初期から、戦略立案から個別のプロダクト企画など、広範にグロースに携わる。
利用者にとって、より付加価値のあるペイメントサービスを創りたいと考え、2020年の10月にKAERU株式会社を創業。
一般社団法人 認知症予防協会 MCI専門士、終活アドバイザー、認知症サポーター、訪問介護の資格を有している。

行政との連携

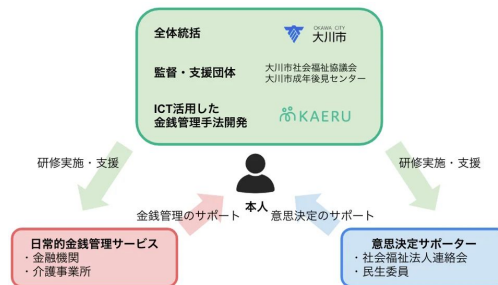
福岡県
「認知症の方の未払い行動を考える」シンポジウムに登壇



大阪府、静岡県社協との
キャッシュレス連携協定



福岡県大川市
持続可能な権利擁護支援 / ICTを活用した金銭管理手法開発



東京都
東京金融賞 金融イノベーション部門 受賞



厚生労働省老健事業
認知症の人の「希望をかなえるヘルプカード」を開発協力



行政×地銀と連携した
過疎地域のキャッシュレス化



メディア掲載

NHKの夕方のニュースにて
高齢者向けキャッシュレスとして特集

読売新聞(2024年5月4日)
認知症向け現場発の製品

Forbes JAPAN
2025年度版、世界を変える
「次世代インパクトスタートアップ」



Product

プロダクト

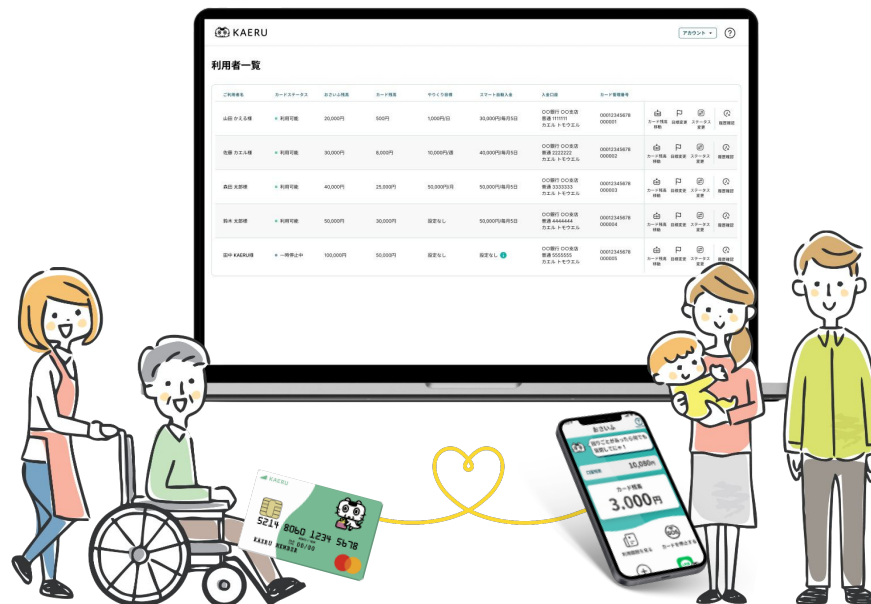
キャッシュレスを活用し
関わる方全てに透明性、安全性、利便性を提供

利用者本人
向け

家族支援
向け

おひとりさま
支援

介護・障がい
福祉向け



Product

プロダクト

誰でも持てる、スーパー・ドラックストアで使える
日々の予算をやりくりできるプリペイドカード



おさいふ残高への入金方法

- ・振込 (ATMやインターネットバンキング)
- ・口座振替による自動入金

国際ブランドプリペイドカードを発行



<利用店舗一例>



※弊社調べ。店舗によっては使えないケースもございます

Product

プロダクト

家族はアプリで離れていてもサポートできます

家族支援
向け



みまもり通知

買い物したタイミングで通知が届き履歴も確認

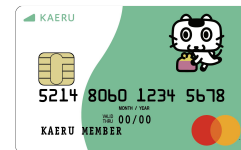
やりくりサポート

1日に使う予算を設定できる

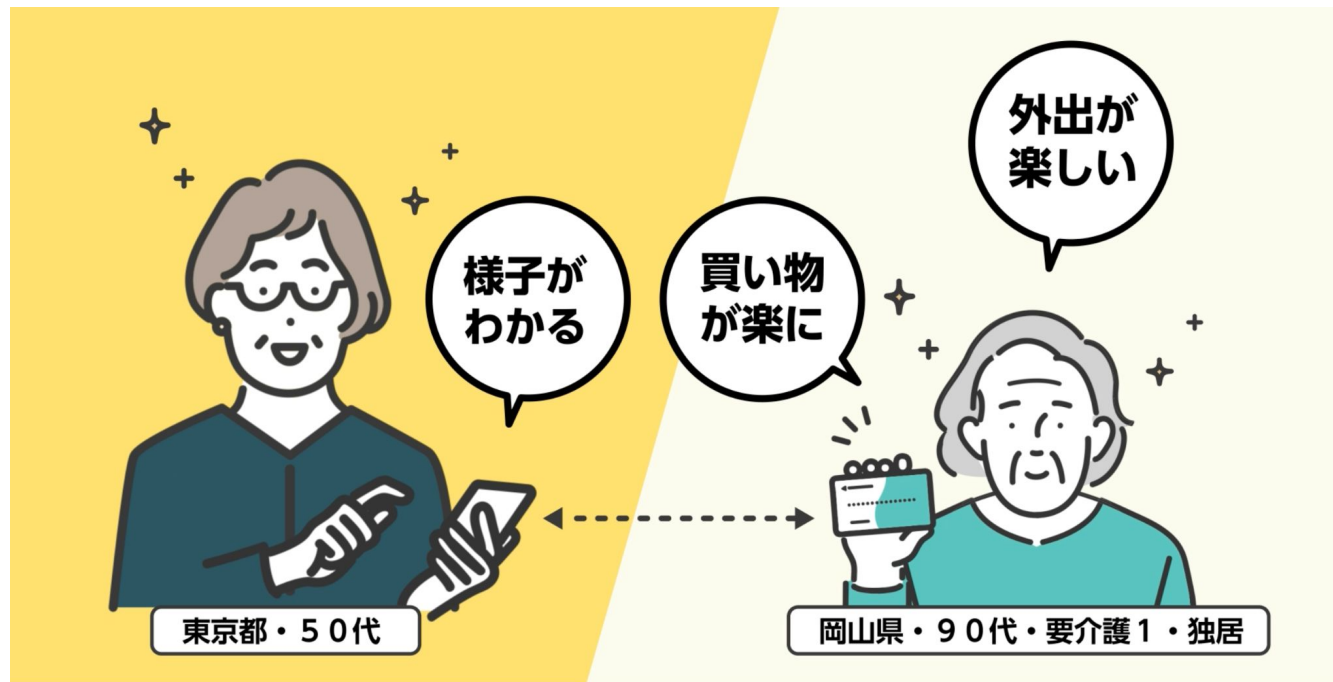
紛失時の一時停止

万が一の時にも安心、再発行も可能

プリペイドカードにチャージ



利用者の声:離れた場所からの支援(家族/本人)



「コミュニケーションのきっかけになっている」

Product

プロダクト

行政や成年後見人が金銭管理できる管理画面も開発。おひとりさまの対応にも活用

おひとりさま 支援



導入先(一部抜粋)



蒲郡市社会福祉協議会



都道府県単位での業務提携



DX支援の効果



ご利用者との
やりとり



銀行への訪問



支払代行



ご利用者宅への訪問

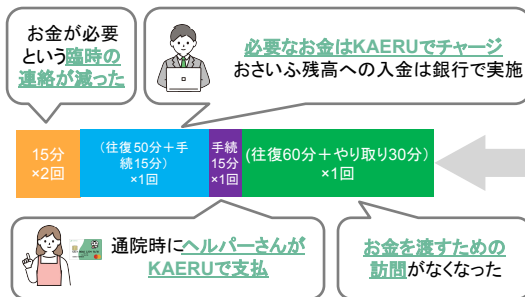
月当たりの合計時間

KAERU導入前



590分

KAERU導入後



およそ1/3に減少

200分

さらに

スマート自動入金
導入後



およそ1/4に減少

135分

その他の効果

- 施設がお金を預からなくてもよくなったので、管理の負担が減った
- 利用者の手元にある金額(カード残高)がすぐ分かるようになった 他



おさいふ残高に自動的に
振り込まれるので銀行に
行く必要がなくなった

利用者1名当たり
約90時間/年※
の効率化が見込めます

※銀行、訪問者宅等との距離や現状のやり取り頻度などにより上下します。



誰もが買いものを楽しみ続けられる世の中にする